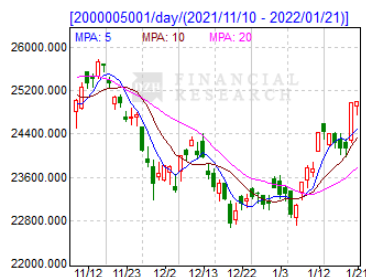




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	34,265.37	-450.02	-1.30	-4.58	-5.70	36,338.30
NASDAQ	13,768.92	-385.10	-2.72	-7.55	-11.99	15,644.97
日経225	27,522.26	-250.67	-0.90	-2.14	-4.41	28,791.71
上海総合	3,522.57	-32.50	-0.91	0.04	-3.22	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,779.31	-44.20	-0.92	1.11	-3.26	4,940.37
ハンセン	24,965.55	13.20	0.05	2.39	6.70	23,397.67
中国企業	8,787.30	25.74	0.29	2.72	6.69	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.4%高と5週続伸、上海総合指数は0.04%高

香港市場ではハンセン指数が週間で2.4%高と5週続伸した。景気減速への警戒感が相場の重しとなったほか、北京冬季五輪を前に新型コロナの市中感染が続いていることが嫌気されたが、中国で1月の最優遇貸出金利が引き下げられたことを好感。25000ポイント付近では上値の重さが意識されたものの、週末にかけて3日続伸と堅調な値動きとなった。本土市場では上海総合指数が0.04%高と小幅ながら3週ぶりに反発。GDPの上振れや2カ月連続の利下げ、中国政府による景気対策への期待が相場の支援材料となった。

今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、25-26日開催のFOMCが焦点

香港市場は弱含みの展開が予想される。中国では金融緩和姿勢が鮮明となっているが、米国では金融引き締めへの警戒感が強まっており、25-26日に開催されるFOMCに注目が集まる。ハンセン指数は25000ポイントが目先の上値抵抗線として意識されており、米国で利上げ開始時期が迫るなか、ハイテク・グロス株を中心に売り圧力が強まることが予想される。一方、本土市場は底堅い展開か。旧正月連休を前に持ち高調整の売りが見込まれるものの、旧正月明けは例年上昇するケースが多く、一定の支えとなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サンス・チャイ (01928)	21.75	18.72
2 信義ガラス (00868)	21.85	12.75
3 碧桂園服務 (06098)	48.55	11.87
4 招商銀行 (03968)	68.55	10.74
5 龍湖集團 (00960)	45.05	10.69
6 銀河娛樂 (00027)	46.25	9.99
7 安踏体育用品 (02020)	123.00	7.89
8 美团 (03690)	238.00	7.89
9 中国平安保險 (02318)	65.95	7.50
10 華潤置地 (01109)	38.25	7.29

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	26.35	-19.42
2 新奥能源 (02688)	131.80	-7.18
3 舜宇光学科技 (02382)	209.20	-4.82
4 創科実業 (00669)	135.00	-3.16
5 藥明生物技術 (02269)	89.60	-2.93
6 吉利汽車 (00175)	19.44	-2.80
7 HSBC (00005)	53.25	-2.38
8 アリババ集團 (09988)	127.10	-1.70
9 恒安國際集團 (01044)	40.10	-1.23
10 中国生物製薬 (01177)	6.08	-1.14

▼今週の主なイベント

- 1月25日(火)
- 【米国】FOMC(～26日)
- 1月27日(木)
- 【中国】工業企業利益(12月)
- 1月30日(日)
- 【中国】製造業PMI(1月)

▼今週の期待材料

- ◆中国人民銀行が1年物最優遇貸出金利を2カ月連続で引き下げ、5年物も引き下げで金融緩和姿勢鮮明に
- ◆中国国務院が観光業の振興に向けた5カ年計画を発表、M&A推進で大手の国際的な競争力強化へ
- ◆中国政府による景気下支えへの期待が続く公算、李克強首相はさらなる需要喚起策の導入を示唆

▼今週の懸念材料

- ◆25-26日にFOMC開催、早期金融引き締めへの警戒感が強まればハイテク・グロス株には下押し圧力に
- ◆旧正月の連休を前に中国で新型コロナの感染続く、各地の移動制限で景気の先行きに警戒感が高まる公算
- ◆NY市場で主要指数が調整、香港市場も前週まで5週続伸でハンセン指数は25000ポイントが上値抵抗線に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 親会社が30億-50億元のA株買い増し計画を発表
- ☆ シノペック石油工程技術服務 (01033) : 21年12月本決算は純利益2.3倍の見通し
- ☆ 長城汽車 (02333) : 21年12月本決算の速報値は32%増収、26%増益
- ☆ 国泰君安証券 (02611) : 21年12月本決算の速報値は35%増益、売買代金増加が寄与
- ☆ 保利協鑫能源 (03800) : 21年12月本決算は需要拡大で黒字転換の見通し
- ☆ 招商証券 (06099) : 21年12月本決算の速報値は株式取引活性化で22%増益
- ☆ 思摩爾國際 (06969) : 21年12月本決算は特殊要因剥落で109-131%増益の見通し
- ★ 中国再保 (01508) : 21年1-12月の損保子会社の保険料収入が10%減少
- ★ 中海油田服務 (02883) : 21年12月本決算は需要低迷で約9割減益の見通し
- ★ 美团 (03690) : 中国当局が再度行政指導、新たな就業形態の労働者の権利保護求める

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。